The Pragmatics Society of Japan
日本語用論学会
PSJ2018 CONFERENCE PROGRAM

第 21 回（2018 年度）大会プログラム

日時：2018 年 12 月 1 日（土）/ 12 月 2 日（日）

会場：杏林大学　井の頭キャンパス　F 棟

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1　電話：0422-47-8000
大学 HP：http://www.kyorin-u.ac.jp/
アクセス：http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/access/mitaka.html#access2

大会テーマ：いまあらためて、語用論とは何か？

◎アクセス・宿泊

〔交通について〕

【1】電車について

東京駅・新宿駅から JR 中央線快速で「吉祥寺」まで、または特別快速で「三鷹」までお越しください。山梨・八王子方向からお越しの場合は「三鷹」でお降りください。渋谷から京王井の頭線で「吉祥寺」（終点）に来る方法もあります。

【2】バスについて

「吉祥寺駅」南口５番乗り場か、「三鷹駅」南口８番乗り場より、「杏林大学井の頭キャンパス行き」（小田急バス）にご乗車いただくのが便利です。所要時間は 15 分ほどで、会場（F 棟）に隣接する学内バスロータリーにて下車することができます。

○三鷹駅・南口バス乗り場【8 番】

○吉祥寺駅・南口バス乗り場【5 番】

※小田急バスは「前乗り」「前払い」（現金：220 円、交通系 IC カード：216 円）です。

【3】タクシーについて

駅からタクシーをご利用される場合「杏林大学井の頭キャンパス」「病院ではなく新しい方」とお伝えください（通常は正門前（野村病院前）に到着しますが、会場に近いのは東門（バスロータリー側）です）。

〔宿泊について〕

会場に近いホテルは「吉祥寺第一ホテル」「吉祥寺東急 REI ホテル」（以上、吉祥寺駅周辺）、「三鷹シティホテル」「リッチモンドホテル東京武蔵野」（以上、三鷹駅周辺）、「ホテルメッツ武蔵境」「シティホテル武蔵境」（以上、武蔵境駅周辺）です。満室等の場合には、新宿・阿佐ヶ谷・高円寺・国分寺・立川等、中央線沿線のホテルをご検討ください。お早めのご予約をお奨めします。

◎大会スケジュール（要旨）・会場案内

１日（土）

9:30～　受付開始
10:00～11:55　研究発表１
10:00～11:55　ワークショップ１，２
12:00～14:35　研究発表２～５
14:35～15:35　ポスター発表
14:00～15:35　語用論茶寮（サロン）
15:45～16:05　会員総会
16:10～17:40　招待講演
17:50～20:00　懇親会

２日（日）

9:20～　受付開始
9:50～11:45　研究発表６～９
11:10～12:45　語用論茶寮（サロン）
11:45～12:45　昼食休憩
12:45～17:00　第１回語用論グランプリ！
　12:50～14:20　1st ステージ　グループ B
　14:25～15:55　1st ステージ　グループ A
　16:00～17:00　ファイナル・ステージ、表彰
17:00～17:10　閉会のあいさつ

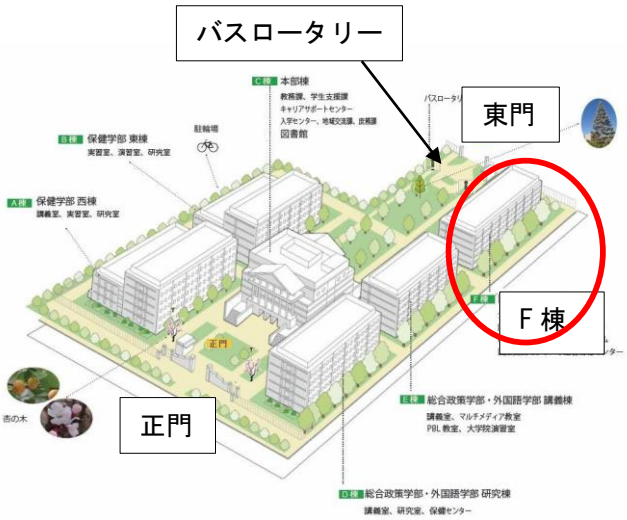
大会受付　F 棟 3 階エレベーターホール
書籍展示　F 棟 3 階ロビー
大会本部　F 棟 2 階国際交流プラザ
会員休憩室　F 棟 4 階 402 教室
語用論茶寮（サロン）　F 棟 2 階中国語サロン

大会参加費

会員：2,000 円（事前登録の方は 1,000 円）、非会員：3,000 円

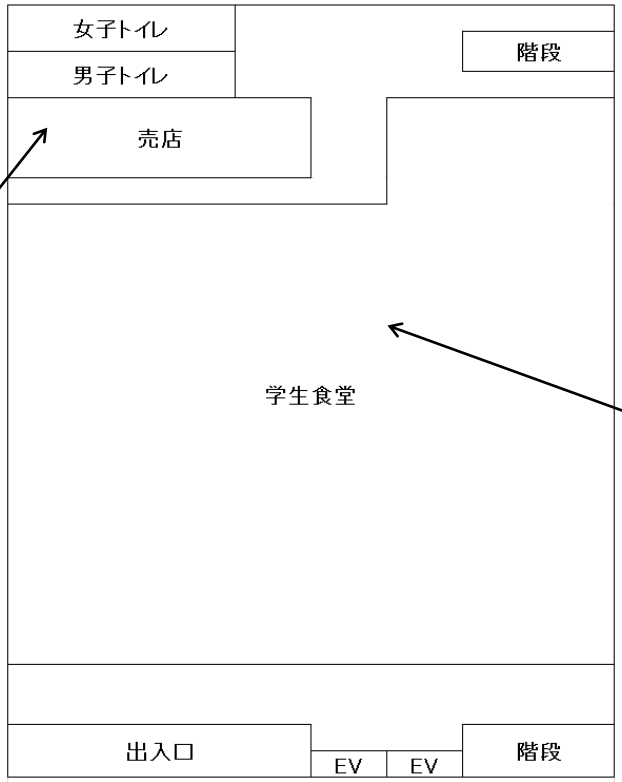
井の頭キャンパス地図

キャンパス・マップ（○が F 棟）



※会場近辺には食堂がありません。学生食堂と売店（F 棟 1 階）をご利用ください。
　学生食堂：土曜：11:00-14:00、日曜：11:30-13:00（日曜は弁当販売。売切の際は売店をご利用ください）
　売　　店：土曜：8:30-15:00、日曜：9:00-14:00
※指定された場所以外は禁煙です。喫煙所は、F 棟の 4 階エレベータ脇にあります。
※飲み物の自動販売機は F 棟の 2 階と 4 階エレベータ脇にあります。

F棟1階



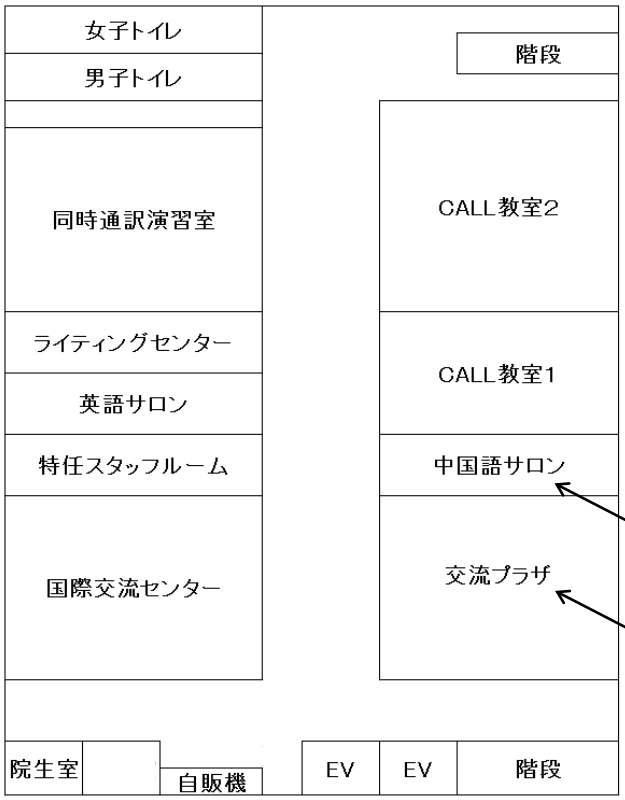
【営業時間】
土曜： 8:30−15:00
日曜： 9:00−14:00

軽食・温かいお飲物・
文具などのほか、
コピー機もあります。

懇親会会場

【ランチ営業】
土曜：11:00−14:00
日曜：11:30−13:00
※日曜は弁当販売のみ

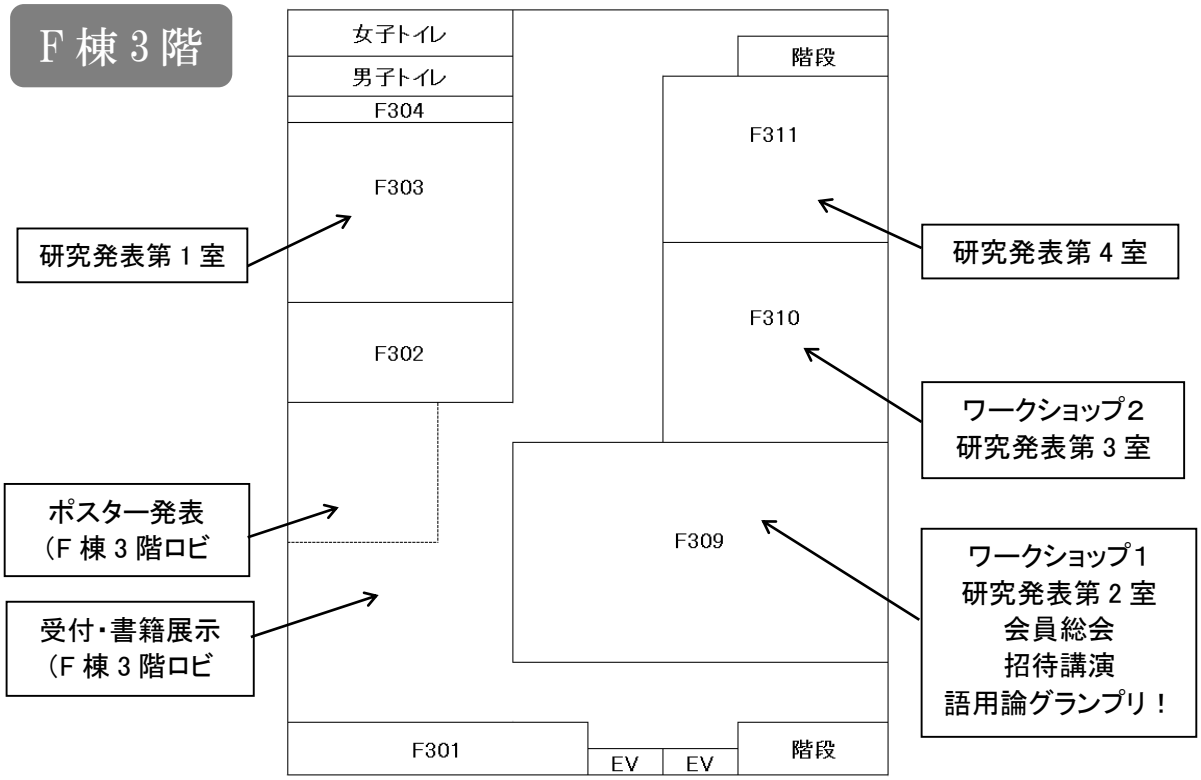
F棟2階



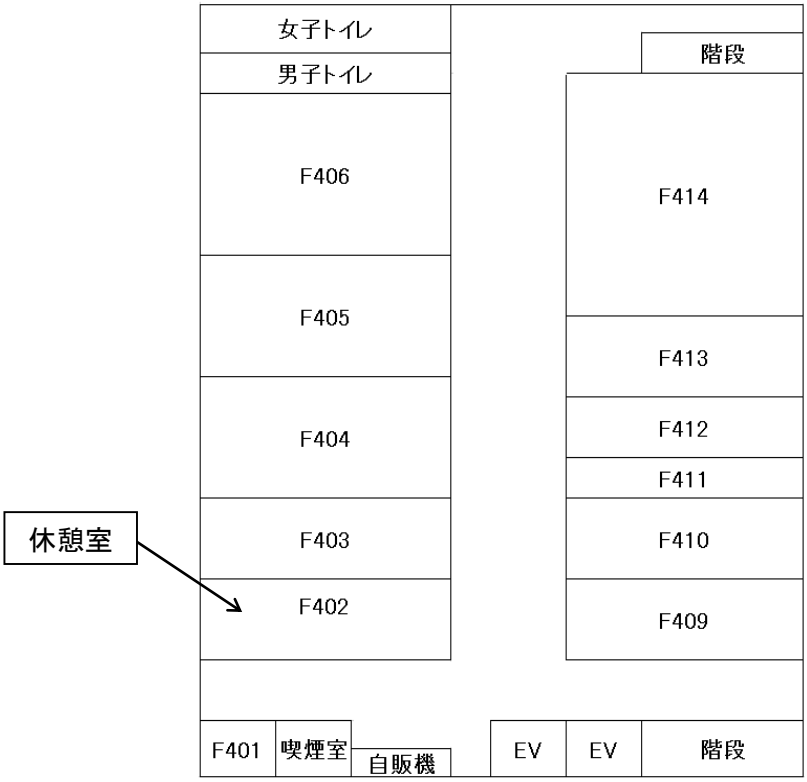
語用論茶寮

大会本部

F 棟 3 階


女子トイレ
男子トイレ
F304
F303
F302
F301
EV
EV
階段
F311
F310
F309
階段
研究発表第 1 室
ポスター発表
（F 棟 3 階ロビ
受付・書籍展示
（F 棟 3 階ロビ
研究発表第 4 室
ワークショップ2
研究発表第 3 室
ワークショップ1
研究発表第 2 室
会員総会
招待講演
語用論グランプリ！

F 棟 4 階


女子トイレ
男子トイレ
F406
F405
F404
F403
F402
F401
喫煙室
自販機
EV
EV
階段
F414
F413
F412
F411
F410
F409
階段
休憩室

プログラム一覧表

≪12 月 1 日（土）≫

9:30	受付開始　Registration			
	研究発表　Oral presentations		ワークショップ　Workshops	
	１　第 1 室 F303 司会：北野浩章		２　第 2 室 F309 オーガナイザー：竹田らら	３　第 3 室 F310 オーガナイザー：尾谷昌則
10:00 〜 10:35	アメリカ英語の談話における like の出現 塚本亜美（新居浜工業高等専門学校）	10:00 〜 11:55	『相互行為』と語用論：社会的関係の動的性質に関する実践研究と教育への応用 竹田らら（東京電機大学）、小川洋介（神戸大学）、種市瑛（横浜市立大学）、田辺和子（日本女子大学）	発話のはじめと終わり　〜多様化する語用論的機能〜 尾谷昌則（法政大学）、大山隆子（北海道大学院生）、沈雪君（法政大学院生）
10:40 〜 11:15	英語指示詞の非制限的用法について 孟鷹（名古屋大学院生）			
11:20 〜 11:55	段落末における which speaking of の諸特徴と機能 山内昇（大同大学）			

	研究発表　Oral presentations				
	２　第 1 室 F303 司会：黒川尚彦	３　第 2 室 F309 司会：遠藤智子	４　第 3 室 F310 司会：鈴木光代	５　第 4 室 F311 司会：井出里咲子	
12:00 〜 12:35	日本語の自他交替：協調の原理の観点から 前田宏太郎（東京大学院生）	この時間帯に予定されていた発表は、発表者のやむを得ない事情によりキャンセルとなりました。	日中語母語話者の「否定的評価」に関する対照研究―談話完成テストの分析を中心に― 儲葉明（筑波大学院生）	相互行為場面の研究で用いられる指示詞の記述 ―分野間の交流を目指して― 平田未季（北海道大学）	
12:40 〜 13:15	ケド文の多義性の構造：「対比」および「参考情報の提示」を両極とする連続体モデル 水田洋子（国際基督教大学）	Sequential Incoherency in English Conversation: Focusing on the Appendor Question Sally JONES (graduate student, Nagoya University)	断り発話の構成要素に関する日中対照研究―認知とポライトネスの接点から 高揚（筑波大学院生）	引用動詞の省略に関する一考察－省略から文法化へ 尹盛熙（関西学院大学）	
	司会：髙木佐知子	司会：遠藤智子	司会：山泉実	司会：菅谷友亮	
13:20 〜 13:55	直後の行為を拘束する発話行為 ―終助詞ヨ・ネのふるまいの変化を例に― 春日悠生（京都大学院生）	Rapport Management in Apologizing: From English Speech Acts Corpora Toshihiko SUZUKI (Waseda University), Ami SATO (Otaru University of Commerce)	発話の中の聞き手指示方法の選択に関する語用論的分析―「あなた」と「固有名詞」との選択を中心に― 都賢娥（北海道大学院生）	インターネットスラングにおける意味変化―新規表現「耐え」を中心に― 林智昭（近畿大学）、松浦光（横浜国立大学）	
14:00 〜 14:35	バラエティ番組の出演者のイメージ構築を図る表現行動の研究 －沢尻エリカ氏は本当にいい人になったのか－ 金載勲（大阪大学院生）	Please smile when you nod: The use of smile in backchannel sequences Saya IKE (Sugiyama Jogakuen University), Jean MULDER (University of Melbourne)	呼びかけと項の連続性―落語に見られる対称人称詞を例に― 東出朋（国立釜慶大学校）	メディアなどで見られる拡張的な連体修飾表現の分析：主観性と間主観性の観点から 神澤克徳（京都工芸繊維大学）	語用論茶寮（サロン） 14:00〜15:35 （前半担当） 井出里咲子 加藤重広 首藤佐智子 滝浦真人(S/P)

	ポスター発表　Poster presentations　F 棟 3 階ロビー						語用論茶寮（サロン）
14:35 〜 15:35	Figurative Expressions は連鎖の中でどう使われるか〜話題転換における役割〜 木野緑（早稲田大学ほか）	日本人はどのようにユーモアを語るか―「わたしのちょっと面白い話コンテスト」からみた語りの構造― 張洋子（東京外国語大学院生）	日本語の雑談における物語の談話構造 張未未（早稲田大学院生）	「虚辞 ＋ COME」存在文の類型論的調査 〜動詞にかかる制限と意味上の主語の意味タイプの関連性に関して〜 三野貴志、芝田思郎、服部拓哉（大阪大学院生）	プロトタイプ義と語用の意味対称 西内沙恵（国立国語研究所）	人はことばによっていかに傷つくか―ディスコーダンスの観点から 中川佳保（大阪大学院生）	（後半担当） 首藤佐智子 滝浦真人(S/P) 鍋島弘治朗 野澤元（発表）
15:45 〜 16:05	会員総会　Business meeting F309						

16:10 〜 17:40	招待講演：伝康晴氏（千葉大学／国立国語研究所）　Plenary lecture: Dr. DEN Yasuharu (Chiba University / NINJAL) 「伝達意図とアドレス性」 F309　司会：北野浩章
17:50〜	懇親会　Conference Banquet　F 棟 1 階学生食堂

≪12 月 2 日（日）≫					
9:20	受付開始　Registration				
	研究発表　Oral presentations				
	６　第 1 室 F303 司会：平田未季	７　第 2 室 F309 司会：金丸敏幸	８　第 3 室 F310 司会：竹田らら	９　第 4 室 F311 司会：尹盛熙	
9:50 〜 10:25	‘¬p, I (don’t) {think/believe}’における挿入節 I (don’t) {think/believe}の語用論的機能 森貞（国立福井工業高等専門学校）	Onomatopoeia, Telop and Relevance: Making meaning more determiate Ryoko SASAMOTO (Dublin City University)	共同発話に見る日本語母語話者の「言語ホスト性」 ―接触場面における三者間課題達成談話の分析から― ツォイ・エカテリーナ（東洋大学）	会話で諷喩を使う二つの方法 平川裕己（神戸市外国語大学院生）	
10:30 〜 11:05	表意に貢献しない概念：the other way (a)round の場合 黒川尚彦（大阪工業大学）	The Cultural Construction of the Self Affecting Figure-Ground Reversal Yusuke SUGAYA (Mie University)	会話におけるトラブルの責任の所在を示す相互行為的ストラテジー ―他者開始・自己実行の修復で利用される「だから」を例に― 中馬隼人（名古屋大学院生）	《賞賛》が「マウンティング」として作用する条件 市川真未（創価大学）	
11:10 〜 11:45	糖尿病にみる多様な想定に対応した臨床での説明　―関連性理論の観点から― 神田千春（上武大学／群馬大学）	社会的迷惑行為の認知と注意行動に対する背景諸要因―社会的合意と日本語学習による逆行転移に着目して― 林炫情（山口県立大学）、玉岡賀津雄（名古屋大学）、ジャミラ・モハマド（マラヤ大学）	疑問表現に対する疑問表現での応答をめぐる語用論的考察 馬穎瑞（重慶大学外国語学院）	英語母語話者と日本人英語学習者の要求談話の対照分析―返金、返品・交換をめぐるロールプレイを資料として― 山本綾（昭和女子大学）	語用論茶寮（サロン） 11:10〜12:45 （前半担当） 岡本雅史(発表) 小野寺典子 澤田 淳 鍋島弘治朗 （後半担当） 有光奈美 岡本雅史(発表) 加藤重広 北野浩章
11:45 〜 12:45	昼食休憩　Lunch				
12:45 〜 17:00	第 1 回語用論グランプリ！　F309 1st ステージ B（12:50〜14:20） 井上逸兵（慶應義塾大学）、西田光一（山口県立大学）、松井智子（東京学芸大学） 1st ステージ A（12:25〜15:55） 大堀壽夫（慶應義塾大学）、椎名美智（法政大学）、西阪仰（千葉大学） ファイナル・ステージ（16:00〜17:00） 実況：鍋島弘治朗（関西大学）、解説：滝浦真人（放送大学） レポーター：尾谷昌則（法政大学）、秦かおり（大阪大学）				
17:00 〜 17:10	閉会のあいさつ　Concluding remarks　F309				

◆語用論茶寮〔サロン〕
・語用論のよろず相談サロンです。お茶でも飲みながら気軽にお話ししませんか？
・両日とも前後半各 4 人（ブース）の話し相手がいます。実施の詳細は後日案内します。
・（発表）や（S/P）とあるのは委員会の責任者です。

１２月１日（土曜日）

受付開始 / Registration（9:30～）

研究発表 / Oral Presentations（10:00～11:55）

第１室 [F303]　研究発表１

① 10:00～10:35　②10:40～11:15　③11:20～11:55

司会：北野　浩章（愛知教育大学）

1. アメリカ英語の談話における like の出現
塚本亜美（新居浜工業高等専門学校）
2. 英語指示詞の非制限的用法について
孟鷹（名古屋大学院生）
3. 段落末における which speaking of の諸特徴と機能
山内昇（大同大学）

ワークショップ / Workshop（10:00～11:55）

第２室[F309]　ワークショップ１ / Workshop 1

● 『相互行為』と語用論：社会的関係の動的性質に関する実践研究と教育への応用

オーガナイザー／司会：竹田らら（東京電機大学）

1. 三者間会話における参与構造の変化
小川洋介（神戸大学）
2. 沈黙の解釈に見られる多義性—会話参与者と研究者の比較を通して
種市瑛（横浜市立大学）
3. 外国人留学生と日本人学生によるリレー式作文協働作成活動における相互行為と学習効果
田辺和子（日本女子大学）
4. 英語での会話力向上のためのチャット形式作文の導入と語用論的側面の指導
竹田 らら（東京電機大学）

第３室[F310]　ワークショップ２ / Workshop 2

● 発話のはじめと終わり　～多様化する語用論的機能～

オーガナイザー／司会：尾谷昌則（法政大学）

1. 接続詞化した「なので」の発話機能について
尾谷昌則（法政大学）
2. 付加型「言いさし文」の語用論的機能–完結させないやり方
大山隆子（北海道大学大学院）
3. 接尾辞「～たん」の文末表現について
沈　雪君（法政大学大学院）

研究発表 / Oral Presentations（12:00～14:35）

第１室 [F303]　研究発表２

① 12:00～12:35　②12:40～13:15　③13:20～13:55　④14:00～14:35

司会：黒川　尚彦（大阪工業大学）

1. 日本語の自他交替：協調の原理の観点から
前田宏太郎（東京大学院生）

2. ケド文の多義性の構造： 「対比」および「参考情報の提示」を両極とする連続体モデル
水田洋子（国際基督教大学）

司会：髙木　佐知子（大阪府立大学）

3. 直後の行為を拘束する発話行為 ―終助詞ヨ・ネのふるまいの変化を例に―
春日悠生（京都大学院生）

4. バラエティ番組の出演者のイメージ構築を図る表現行動の研究 ー沢尻エリカ氏は本当にいい人になったのかー
金載勲（大阪大学院生）

第 2 室 [F309]　研究発表３

② 12:40～13:15　③13:20～13:55　④14:00～14:35

司会：遠藤　智子（成蹊大学）

（1 の発表は、発表者のやむを得ない事情によりキャンセルとなりました。）

2. Sequential Incoherency in English Conversation: Focusing on the Appendor Question
Sally JONES (graduate student, Nagoya University)

3. Rapport Management in Apologizing: From English Speech Acts Corpora
Toshihiko SUZUKI (Waseda University), Ami SATO (Otaru University of Commerce)

4. Please smile when you nod: The use of smile in backchannel sequences
Saya IKE (Sugiyama Jogakuen University), Jean MULDER (University of Melbourne)

第 3 室 [F310]　研究発表４

① 12:00～12:35　②12:40～13:15　③13:20～13:55　④14:00～14:35

司会：鈴木　光代（東京女子医科大学）

1. 日中語母語話者の「否定的評価」に関する対照研究―談話完成テストの分析を中心に―
儲葉明（筑波大学院生）

2. 断り発話の構成要素に関する日中対照研究―認知とポライトネスの接点から
高揚（筑波大学院生）

司会：山泉　実（大阪大学）

3. 発話の中の聞き手指示方法の選択に関する語用論的分析―「あなた」と「固有名詞」との選択を中心に―
都賢娥（北海道大学院生）

4. 呼びかけと項の連続性―落語に見られる対称人称詞を例に―
東出朋（国立釜慶大学校）

第 4 室 [F311]　研究発表５

① 12:00～12:35　②12:40～13:15　③13:20～13:55　④14:00～14:35

司会：井出　里咲子（筑波大学）

1. 相互行為場面の研究で用いられる指示詞の記述 ―分野間の交流を目指して―
平田未季（北海道大学）

2. 引用動詞の省略に関する一考察－省略から文法化へ
尹盛熙（関西学院大学）

司会：菅谷　友亮（三重大学）

3. インターネットスラングにおける意味変化―新規表現「耐え」を中心に―
林智昭（近畿大学）、松浦光（横浜国立大学）

4. メディアなどで見られる拡張的な連体修飾表現の分析：主観性と間主観性の観点から
神澤克徳（京都工芸繊維大学）

語用論茶寮（サロン） / Pragmatics Salon （14:00～15:35）

F 棟 2 階中国語サロン

語用論研究にまつわる話や相談が気軽にできる「サロン」を設置します。当学会の会長をはじめ運営委員が数名待機しておりますので（ラインナップは以下を参照）、自身の研究のことだけでなく、大会の発表に関すること、S/P への論文投稿に関することなど、どうぞ気楽に話しに来て頂ければ幸いです。「あの先生と話してみたい！」という動機でも勿論構いません。

前半担当：井出里咲子（筑波大学）、加藤重広（北海道大学、会長）、首藤佐智子（早稲田大学）、滝浦真人（放送大学、S/P 委員長）
後半担当：首藤佐智子（早稲田大学）、滝浦真人（放送大学、S/P 委員長）、鍋島弘治朗（関西大学）、野澤 元（京都外国語大学、大会発表委員長）

ポスター発表 / Poster Presentations（14:35～15:35）

ポスター発表会場 [F 棟 3 階ロビー]

1. Figurative Expressions は連鎖の中でどう使われるか～話題転換における役割～
木野緑（早稲田大学ほか）
2. 日本人はどのようにユーモアを語るか—「わたしのちょっと面白い話コンテスト」からみた語りの構造—
張洋子（東京外国語大学院生）
3. 日本語の雑談における物語の談話構造
張未未（早稲田大学院生）
4. 「虚辞 ＋ COME」存在文の類型論的調査 ～動詞にかかる制限と意味上の主語の意味タイプの関連性に関して～
三野貴志（大阪大学院生），芝田思郎（大阪大学院生），服部拓哉（大阪大学院生
5. プロトタイプ義と語用の意味対称
西内沙恵（国立国語研究所）
6. 人はことばによっていかに傷つくか-ディスコーダンスの観点から
中川佳保（大阪大学院生）

会員総会 / Business meeting（15:45～16:05）

第 2 室 [F309]

招待講演 / Plenary Lecture (16:10～17:40)

第 2 室 [F309]

講演題目：伝達意図とアドレス性
講師：伝康晴（千葉大学／国立国語研究所）

懇親会 / Conference Banquet （17:50～20:00）

F 棟 1 階学生食堂

会費：一般 5,000 円、学生 4,000 円
（交流と議論の場です。お一人でもご遠慮なくお越しください）

１２月２日（日曜日）

受付開始 / Registration（9:20～）

研究発表 / Oral Presentations（9:50～11:45）

第１室 [F303]　研究発表６

①　9:50～10:25　②10:30～11:05　③11:10～11:45

司会：平田　未季（北海道大学）

1. ‘¬p, I (don’t) {think/believe}’における挿入節 I (don’t) {think/believe}の語用論的機能

森貞（国立福井工業高等専門学校）

2. 表意に貢献しない概念：the other way (a)round の場合

黒川尚彦（大阪工業大学）

3. 糖尿病にみる多様な想定に対応した臨床での説明　―関連性理論の観点から―

神田千春（上武大学／群馬大学）

第２室 [F309]　研究発表７

①9:50～10:25　②10:30～11:05　③11:10～11:45

司会：金丸　敏幸（京都大学）

1. Onomatopoeia, Telop and Relevance: Making meaning more determiate

Ryoko SASAMOTO (Dublin City University)

2. The Cultural Construction of the Self Affecting Figure-Ground Reversal

Yusuke SUGAYA (Mie University)

3. 社会的迷惑行為の認知と注意行動に対する背景諸要因 ―社会的合意と日本語学習による逆行転移に着目して―

林炫情（山口県立大学）、玉岡賀津雄（名古屋大学）、ジャミラ・モハマド（マラヤ大学）

第３室 [F310]　研究発表８

①9:50～10:25　②10:30～11:05　③11:10～11:45

司会：竹田　らら（東京電機大学）

1. 共同発話に見る日本語母語話者の「言語ホスト性」 ―接触場面における三者間課題達成談話の分析から―

ツォイ・エカテリーナ（東洋大学）

2. 会話におけるトラブルの責任の所在を示す相互行為的ストラテジー ―他者開始・自己実行の修復で利用される「だから」を例に―

中馬隼人（名古屋大学院生）

3. 疑問表現に対する疑問表現での応答をめぐる語用論的考察

馬穎瑞（重慶大学外国語学院）

第４室 [F311]　研究発表９

①　9:50～10:25　②10:30～11:05　③11:10～11:45

司会：尹　盛熙（関西学院大学）

1. 会話で諷喩を使う二つの方法

平川裕己（神戸市外国語大学院生）

2. 《賞賛》が「マウンティング」として作用する条件

市川真未（創価大学）

3. 英語母語話者と日本人英語学習者の要求談話の対照分析—返金、返品・交換をめぐるロールプレイを資料として—

山本綾（昭和女子大学）

語用論茶寮（サロン） / Pragmatics Salon （11:10～12:45）

F 棟 2 階中国語サロン

前半担当：岡本雅史（立命館大学、大会発表副委員長）、小野寺典子（青山学院大学）、澤田 淳（青山学院大学）、鍋島弘治朗（関西大学）
後半担当：有光奈美（東洋大学）、岡本雅史（立命館大学、大会発表副委員長）、加藤重広（北海道大学、会長）、北野浩章（愛知教育大学）

昼食休憩 / Lunch （11:45～12:45）

特別企画 / Special Event （12:45～17:00）

第 1 回語用論グランプリ！ / The 1st Pragmatics Grand Prix!

第 2 室 [F309]

語用論に関わる６名の先生方にご登壇いただき、ご自身の研究や理論分野の楽しさ、すばらしさ、語用論とのつながりなどを紹介していただきます。聴衆の皆さまの投票による、トーナメント形式を予定しております。

1st ステージ　グループ B（12:50～14:20）

新グライス派　西田光一（山口県立大学）
関連性理論　松井智子（東京学芸大学）
社会言語学　井上逸兵（慶應義塾大学）

1st ステージ　グループ A（14:25～15:55）

認知言語学　大堀壽夫（慶應義塾大学）
歴史語用論／ポライトネス　椎名美智（法政大学）
会話分析　西阪仰（千葉大学）

ファイナル・ステージ（16:00～17:00）

実況：鍋島弘治朗（関西大学）、解説：滝浦真人（放送大学）
レポーター：尾谷昌則（法政大学）、秦かおり（大阪大学）

※登壇者の公務の関係で、1st ステージ　グループ A とグループ B の順番を変更しております。ご留意ください。

閉会のあいさつ　Concluding remarks （17:00～17:10）

第 2 室 [F309]

◆プログラム・要旨集の紙媒体廃止について

今回大会より、プログラム・要旨集の紙媒体の配布を廃止することとなりました。代わって学会公式ホームページ上に電子媒体（PDF）にて本プログラム・要旨集を公開しました。大会にご参加の皆様はノート PC にダウンロードしてご持参になるか、予め紙に印字してご持参いただくか、いずれかの方法にてご利用ください。

会場の井の頭キャンパスにてゲスト ID で無線 LAN に接続してご利用いただくことも可能ですが、ダウンロードが集中すると回線が混雑する恐れもあるため、事前にダウンロードしておかれることをお奨めします。

PSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJ

大会開催委員（開催校）:
八木橋 宏勇（杏林大学外国語学部）

大会運営部・運営委員（50 音順）:

有光 奈美（東洋大学）
井上 逸兵（慶應義塾大学）
金丸 敏幸（京都大学）
鈴木 光代（東京女子医科大学）
鍋島 弘治朗（関西大学）
野澤 元（京都外国語大学）
井出 里咲子（筑波大学）
岡本 雅史（立命館大学）
北野 浩章（愛知教育大学）
高木 佐知子（大阪府立大学）
西田 光一（山口県立大学）
山岡 政紀（創価大学）

大会運営部・部員（50 音順）:

小松原 哲太（立命館大学）
竹田 らら（東京電機大学）
山泉 実（大阪大学）
杉本 巧（広島国際大学）
八木橋 宏勇（杏林大学）
横森 大輔（九州大学）

日本語用論学会会長： 加藤 重広（北海道大学）
日本語用論学会事務局長： 小山 哲春（京都ノートルダム女子大学）
日本語用論学会事務局： 〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町 1
京都ノートルダム女子大学 人間文化学部 小山哲春 研究室内
E-mail：secretary@pragmatics.gr.jp

PSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJPSJ